

工事事務(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事務が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事務が再び発生することのないように工事事務概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事務(速報)発生状況】 (H23.12.31現在)

	12月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成23年度(今年度)	6件	52件	1人	15人
平成22年度(昨年度)	5件	61件	2人	21人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事務発生件数(速報)を示す。

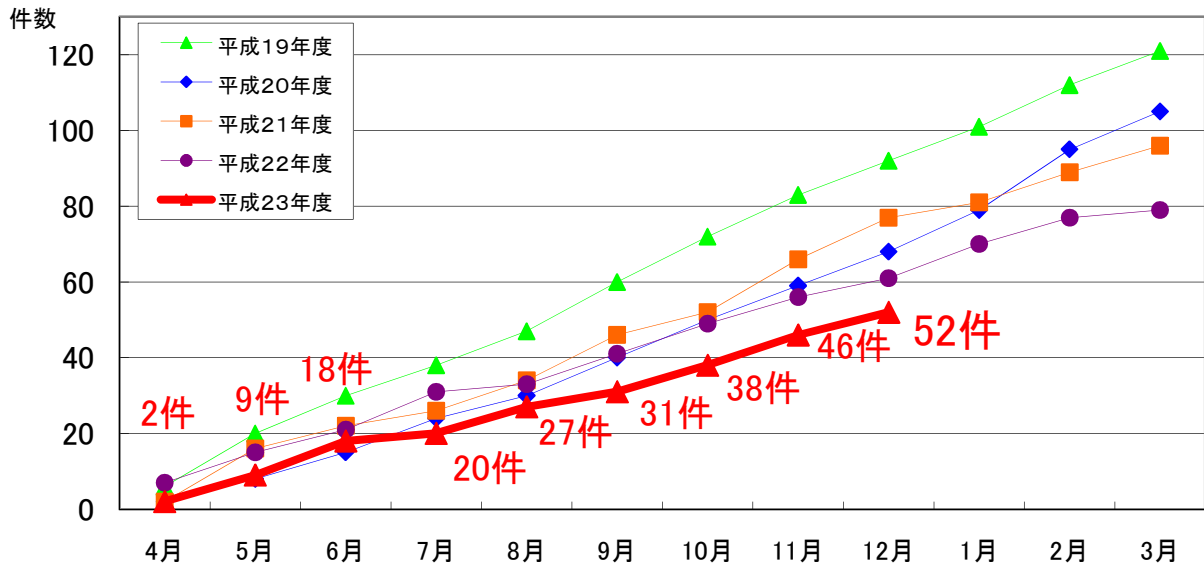
注2) 「12月発生件数」は、12/1～12/31の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～12/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～12/31の累計人数を示す。

注5) 平成23年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

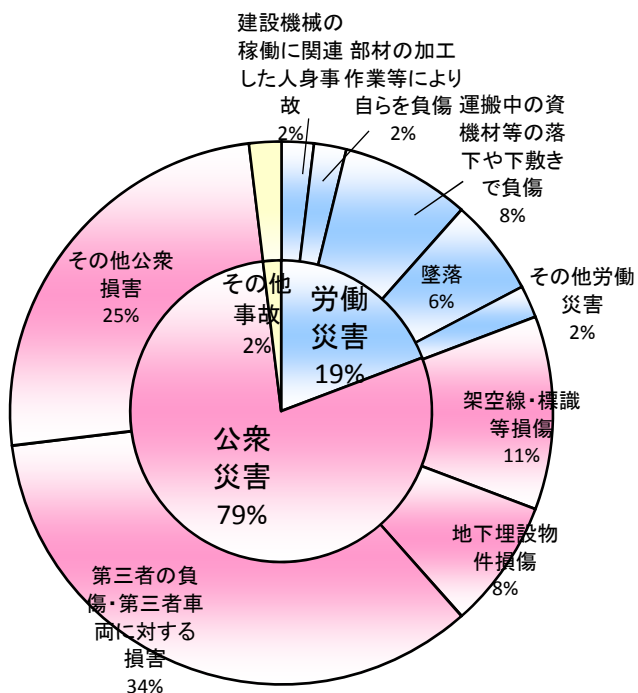
●工事事務件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成19年度	累計 (月毎) 6件 (6件)	20件 (14件)	30件 (10件)	38件 (8件)	47件 (9件)	60件 (13件)	72件 (12件)	83件 (11件)	92件 (9件)	101件 (9件)	112件 (11件)	121件 (9件)
平成20年度	累計 (月毎) 2件 (2件)	8件 (6件)	15件 (7件)	24件 (9件)	30件 (6件)	40件 (10件)	50件 (10件)	59件 (9件)	68件 (9件)	79件 (11件)	95件 (16件)	105件 (10件)
平成21年度	累計 (月毎) 2件 (2件)	16件 (14件)	22件 (6件)	26件 (4件)	34件 (8件)	46件 (12件)	52件 (6件)	66件 (14件)	77件 (11件)	81件 (4件)	89件 (8件)	96件 (7件)
平成22年度	累計 (月毎) 7件 (7件)	15件 (8件)	21件 (6件)	31件 (10件)	33件 (2件)	41件 (8件)	49件 (8件)	56件 (7件)	61件 (5件)	70件 (9件)	77件 (7件)	79件 (2件)
平成23年度	累計 (月毎) 2件 (2件)	9件 (7件)	18件 (9件)	20件 (2件)	27件 (7件)	31件 (4件)	38件 (7件)	46件 (8件)	52件 (6件)			

※なお、平成21年度工事事務より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。

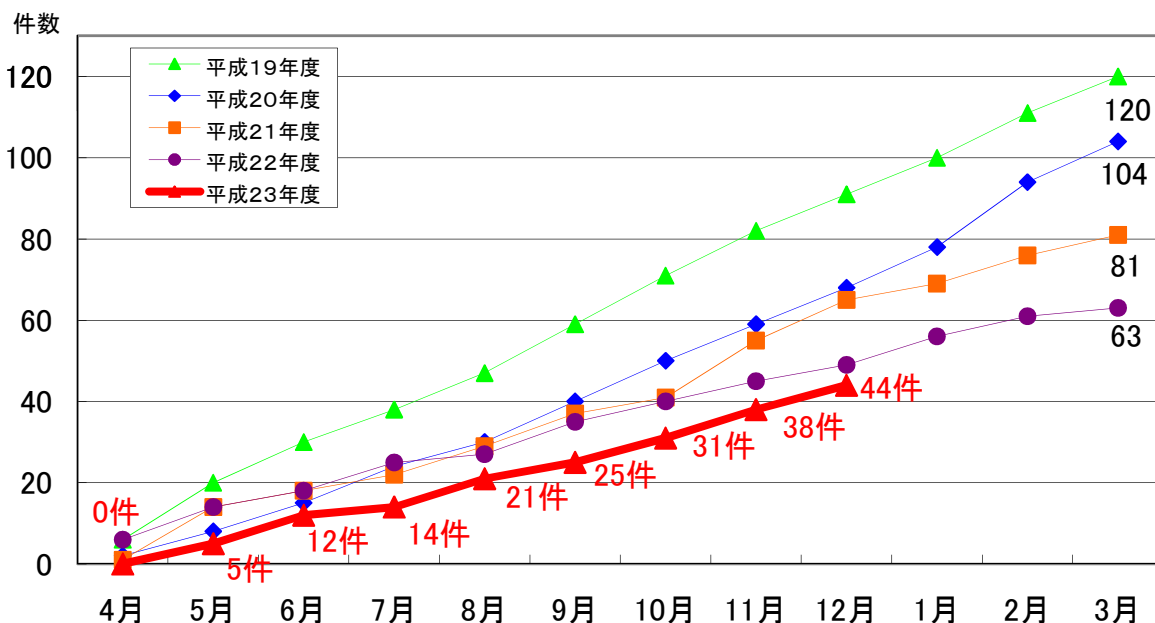
●平成23年度 工事事故発生状況(発生形態別)



	発生形態	H21	H22	H23	過去3年間計
労働災害	建設機械の稼働に関連した人身事故	12	6	1	19
	部材の加工作業等により自らを負傷	5	4	1	10
	運搬中の資機材等の落下や下敷きで負傷	5	2	4	11
	墜落	6	8	3	17
	準備作業、測量調査業務等における人身事故	1	0	0	1
	その他労働災害	5	5	1	11
小計		34	25	10	69
公衆損害	架空線・標識等損傷	20	14	6	40
	地下埋設物件損傷	7	6	4	17
	第三者の負傷・第三者車両に対する損害	11	13	18	42
	その他公衆損害	23	19	13	55
	小計	61	52	41	154
その他事故	1	2	1	4	
計	96	79	52	227	

□ ···H23年度重点的安全対策項目

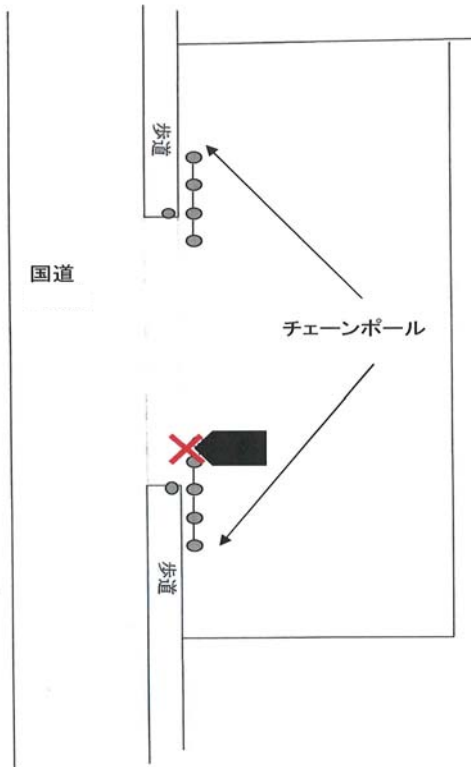
●「その他公衆損害」事故のうち、車両管理業務等の車両の自損事故を除く事故件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成19年度 累計	6件	20件	30件	38件	47件	59件	71件	82件	91件	100件	111件	120件
(月毎)	(6件)	(14件)	(10件)	(8件)	(9件)	(12件)	(12件)	(11件)	(9件)	(9件)	(11件)	(9件)
平成20年度 累計	2件	8件	15件	24件	30件	40件	50件	59件	68件	78件	94件	104件
(月毎)	(2件)	(6件)	(7件)	(9件)	(6件)	(10件)	(10件)	(9件)	(9件)	(10件)	(16件)	(10件)
平成21年度 累計	1件	14件	18件	22件	29件	37件	41件	55件	65件	69件	76件	81件
(月毎)	(1件)	(13件)	(4件)	(4件)	(7件)	(8件)	(4件)	(14件)	(10件)	(4件)	(7件)	(5件)
平成22年度 累計	6件	14件	18件	25件	27件	35件	40件	45件	49件	56件	61件	63件
(月毎)	(6件)	(8件)	(4件)	(7件)	(2件)	(8件)	(5件)	(5件)	(4件)	(7件)	(5件)	(2件)
平成23年度 累計	0件	5件	12件	14件	21件	25件	31件	38件	44件			
(月毎)	(0件)	(5件)	(7件)	(2件)	(7件)	(4件)	(6件)	(7件)	(6件)			

発生日時	平成 23 年 12 月 9 日 (金) 13 時 40 分				天候	晴
工事情報	河川系事務所 役務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	ポール、官用車損傷		
事故概要	目的地にて停車のために車両を前進させたところ、敷地内のポールに接触、損傷させたもの。					
公衆損害事故-第三者の負傷・第三者車両に対する損害						

事故発生状況



ポール損傷状況



官用車損傷状況

【事故発生原因】

- ・運転手の前方確認不足によるもの。
など

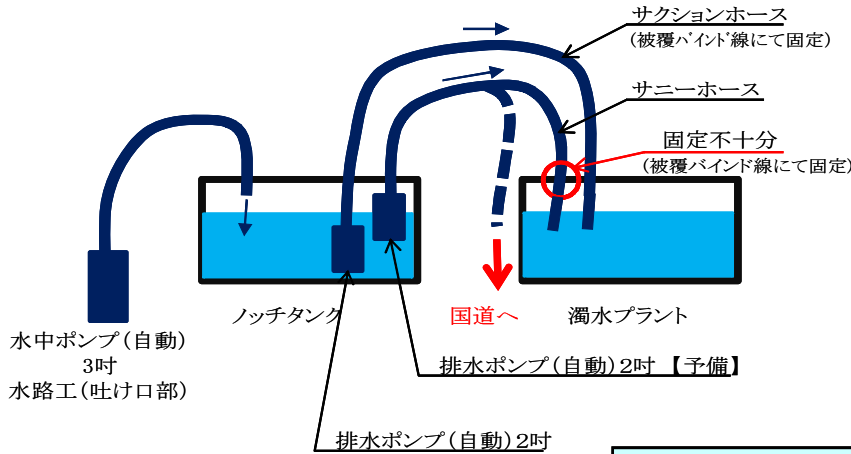
【事故防止のポイント】

- ・車両安全運転教育の徹底。
- ・周囲の傷害物は事前に確認してから運行するよう周知・徹底する。 など

発生日時	平成 23 年 12 月 17 日 (土) 21 時 50 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	一般車両2台損傷	
事故概要	路面へ流れだした排水が凍結して一般車両が交通事故を起こしたもの。				
	公衆損害事故-第三者の負傷・第三者車両に対する損害				

事故発生状況

【交通事故発生時状況図】



排水ホース設置状況 (全景) (固定状況)



事故発生時推定状況



- ・濁水プラントへ通じるホースが固定されていなかったため、排水が現場から国道へ流れ出してしまった。
- ・気温が低かったため、排水が路面にて凍結し、走行した一般車両がスリップして事故を起こしたもの。
- ・予備の排水ポンプで水位に応じて自動的に稼動するようになっており、繰り返し膨張・収縮及び稼動時の引張力により、ホースが外れてしまったものと思われる。

【事故発生原因】

・ホースが十分に固定されていなかったため。 など

【事故防止のポイント】

- ・現場に設置した器具は動かないよう固定すること。
- ・稼動させている機械があれば、作業を実施していない時間帯においても定期的に現場確認を実施すること。 など

発生日時	平成 23 年 12 月 20 日 (火)			1 時 30 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	一般車両損傷		
事故概要	舗装補修作業中、振動ローラーが一般車両に接触し、損傷させたもの。					
	公衆損害事故-第三者の負傷・第三者車両に対する損害					

事故発生状況



サイドロローラー

- ・サイドロローラーを一旦待機場所に止め、コンバインローラーを移動している間に事故が発生。
- ・エンジン低速時は自重により自走する可能性がある機械であったため、動いたと考えられる。(取扱説明書)
- ・作業手順書にて、エンジンは停止させるよう、指導していたが守られていなかった。

【事故発生原因】

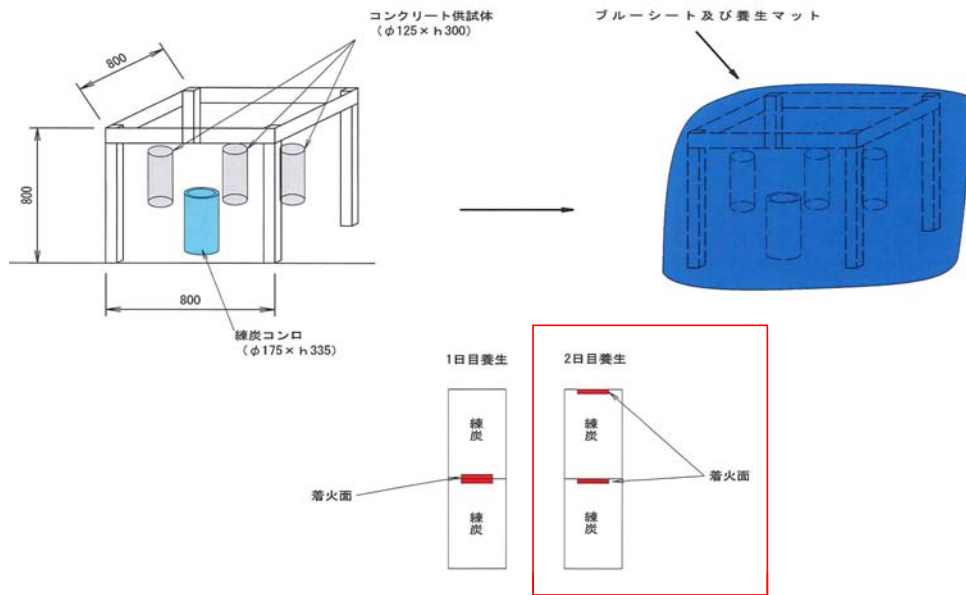
- ・エンジンを停止せず、機械を待機させたため。 など

【事故防止のポイント】

- ・作業手順書を遵守するよう作業員に周知・徹底する
- ・作業内容に無理がないよう計画を立てること。 など

発生日時	平成 23 年 12 月 20 日 (火) 20 時 0 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	現場仮設物損傷	
事故概要	現場養生テストピースの練炭養生箇所から、付近にあった簡易トイレに引火したものの。				
	その他事故-その他事故				

事故発生状況



・現場にて練炭を用いてコンクリート養生を行っていた。

・練炭を二つ重ねた際に、着火面を上側にしたため、炎が発生した際に、覆ってあったブルーシートに炎が飛び移り、火災が発生したものの。



損傷状況

【事故発生原因】

・練炭の使用方法が安全でなかったため。 など

【事故防止のポイント】

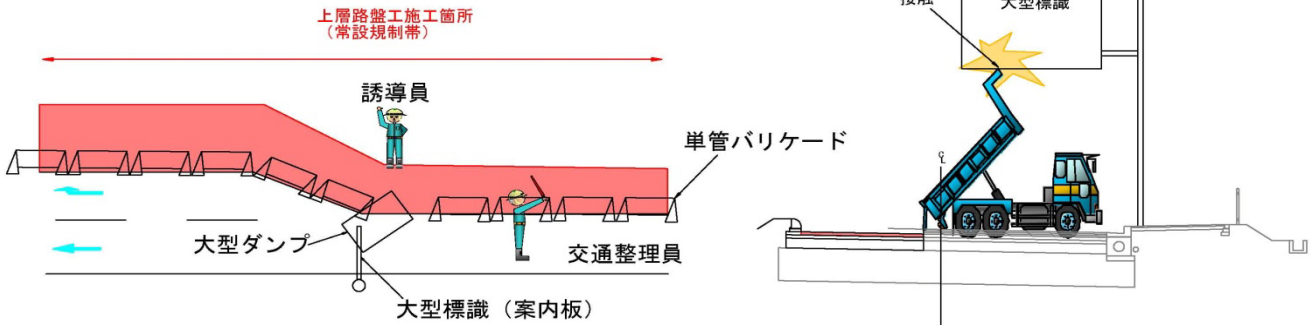
・練炭を使用する場合は、作業員が定期的に現地を確認するなど、対策を講じること。

・火気に対する注意喚起を作業員に周知・徹底する。 など

発生日時	平成 23 年 12 月 22 日 (木)			11 時 10 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	標識損傷		
事故概要	資材運搬業者が大型ダンプにて路盤材を荷下ろし中、標識に接触し、損傷させたもの。					
公衆損害事故-架空線・標識等の損傷						

事故発生状況

上層路盤施工中、材料搬入のダンプが施工幅員が狭いため、道路上から荷下ろしを行っていた。誘導員の指示のもと荷下ろしをしたが、運転手・誘導員とも標識の認識がなく、接触した。



- ・資材運搬会社のダンプトラックが、荷下ろし作業を行っていた。
- ・誘導員を配置し、周囲を確認していたが、標識を見落としていたため、当たってしまったもの。



現場状況



損傷状況

【事故発生原因】

- ・誘導時の周囲確認不足によるもの。
など

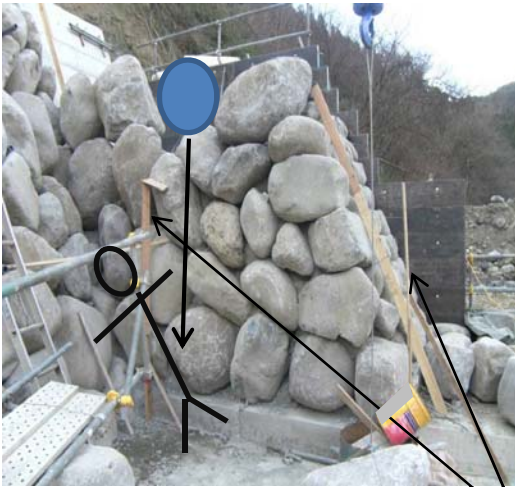
【事故防止のポイント】

- ・適切な誘導を実施するよう、作業員に周知・徹底する。
など

発生日時	平成 23 年 12 月 27 日 (火) 11 時 10 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男性	25	作業員	死亡	
事故概要	床固工石張り作業でクレーンにて玉石を吊って据え付ける際に石が落下し、作業員にあたったもの。				
	工事関係者事故-運搬中の資機材等の落下や下敷きで負傷				

事故発生状況

ワイヤーが外れ下へ落下



既設の石に当たりながら作業員の腰と足に接触



φ700 約200kg

2本の丁張りを利用して巨石積みの通りを確認していた

巨石を据え付けた時に玉掛ワイヤーが緩み巨石が下に落下。作業員の腰と足にあたったもの。

【事故発生原因】

・現在調査中。

【事故防止のポイント】

・吊り荷の下に入らないよう、作業に周知・徹底する。(クレーン則)
など